

令和7年度
公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会
事業計画書



公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

(ver-1)

目次

- I. 事務部
- II. 組織部
- III. 渉外部
- IV. 広報部
- V. 公益活動部
- VI. 精度管理部
- VII. 学術部
- 予算計画 (未)

I. 事務部

適正な法人運営が行われるよう、各種事項の管理・運営を行う

1. 令和7年度定期総会
開催日：令和7年6月6日（金） 開催場所：草津市立市民総合交流センター402号（予定）
2. 理事会の開催（定例：毎月第1水曜日、又は、必要に応じ）
3. 常務理事会の開催（必要に応じ）
4. 法人に関する各種契約・申請・報告に関することの管理
5. 技師会会議室の管理・運営（利用向上の促進）
6. 会員・関連団体の慶弔に関すること
7. 関連団体との連帯強化
8. タスク・シフト実技講習会に関すること
9. その他、法人運営に関すること

*タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

第7回実技講習会 令和7年10月26日（日） 医療研修施設「ニプロ iMEP（アイメップ）」（予定）

タスク・シフト/シェアに関するワーキンググループ

役名	氏名	所属施設
実務責任者	西尾 久明	社会医療法人誠光会 淡海医療センター
実務副責任者	守安 岳征	大津赤十字病院
実務委員	大本 和由	済生会守山市民病院
実務委員	西村 精児	近江八幡市立総合医療センター
実務委員	北村 友利子	地方独立行政法人 公立甲賀病院
実務委員	足立 徹	医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
実務委員	湯本 浩史	滋賀医科大学医学部附属病院
実務委員	清水 治美	(財)近江愛隣園 今津病院
実務委員	一岡 英樹	市立野洲病院
実務委員	小中 茂吉	市立野洲病院

II. 組織部

会員管理は元より、新入会員研修、青年部会、施設代表者会、厚生事業などを通じ、会員の交流を図りながら情報交換・情報共有の場とし組織強化を図る。

1. 会員管理
2. 新入会員研修会 開催日：令和7年8月（予定）
新入会員の技師会に対する理解を深める研修会を開催する。会員と役員との交流を通じて技師会活動、生涯教育、学術活動、青年部等 積極的な参画を促す。
青年部部員にも参加を願う。
3. 青年部研修会 年間2回開催 開催日未定
これからの技師会活動を担う後継者の育成を目的とし、青年部の基盤づくりを促す。
4. 施設代表者会（臨床検査技師長・責任者会議） 令和8年3月（予定）
技師会活動の話題、問題点等を討議する機会を持つ共に、会員間の交流、情報交換を促す。
5. 地域ニューリーダー育成研修会（施設代表者会議と合同開催 予定）
中堅以上の経験を有する者を対象に、滋賀県技師会で活躍できる次世代のリーダー育成を目的とする研修会を開催する。
6. 永年会員表彰 滋賀学会にて表彰 対象：滋臨技継続10年以上で、45歳以上の会員
7. 未加入技師への入会促進
組織強化の観点より、未加入技師の所属施設長から積極的に勧誘する。
8. 厚生事業（令和7年10月予定） 会員の親睦を図るために、レクリエーションを行う。
9. 地区懇 （開催は各地区に委ねる）

青年部

1. 滋賀県臨床検査技師会 新入会員研修会

滋賀県臨床検査技師会が行う新入会員研修会に、青年部も宣伝を兼ねて、事業紹介の一部に入れさせていた
だく。

研修会には青年部委員も可能な限り参加し、新入会員の技師会事業への理解・他の技師との交流を深められ
る「架け橋」を担いたい。

2. 青年部研修会および意見交換会

開催日：未定、場所：未定

年一回以上の、県内会員に絞った研修会を企画・立案する。

今年度も若手会員を対象とした研修会を企画し、自己研鑽やコミュニケーション能力の開発などをテーマと
し、研修会を企画・実行していきたい。

また若手会員の交流を図るため、R5 年度と同様の意見交換会も企画・実行する。研修会の内容や意見交換
会の日程・会場などに関しては今後の青年部会議を進めていく中で検討していく。

3. 青年部 部会

今後の青年部研修会の内容や、技師会の組織活性化となるような企画の立案・会議を行うため、2 か月に 1
回程度の青年部会を行う。

III. 渉外部

当会の活動にご理解・ご賛同いただける、企業・団体様へ「賛助、協賛、広告」を呼びかけ協力をお願いす
る。また、医療関連団体との交流を図る。

1. 医療関係企業への賛助会員への加入の推進を図る。
2. 医療関係企業への会誌（滋臨技だより）広告の協力依頼を図る。
3. 医療関係企業への滋賀県医学検査学会における学会賛助並びに滋賀医学検査誌広告の協力依頼を図
る。
4. 関係団体との連携・交流に関する事
5. その他渉外に関する事（啓蒙宣伝・関係法規など）

IV. 広報部

講演会・研修会などの案内、臨床検査に関すること、理事会など各種活動報告、会員動向、求人に関するこ
と、会員からの寄稿・投稿などを、会誌・ホームページを通じ掲載・配信する。メーリング会員の登録促進
を図る。

1. 会誌「滋臨技だより」の発行

会員への情報伝達手段として、年 4 回発行する。原稿募集や編集の方法は随時工夫する。

- ・ 郵便料金の値上げに伴う発行形態の見直し
- ・ 学会や研修会等の予定・報告の掲載
- ・ 各行事報告の掲載
- ・ 会員からの投稿・寄稿の掲載
- ・ 行事・研修会等の予定の掲載
- ・ 理事会議事録・会員動向等の掲載

2. 「研修会予定表」の発行

会誌（滋臨技だより）と同時に発行（年 4 回）とし、滋臨技主催の行事に参加するための
ツールとして情報発信を行う。

- ・ 予定表による研修会、事業の案内

3. ホームページによる広報活動

会員が必要情報を早く、わかりやすく、アクセスできるようにホームページを随時更新する。

- ・ 日臨技・滋臨技研修会、精度管理、事業等の案内
- ・ 学会情報案内
- ・ 会誌「滋臨技だより」の公開
- ・ 求人情報の掲載

- ・新着情報の掲載
- ・研修会案内メール・求人情報案内メールの発信

4. ホームページ委員会の開催

ホームページの運営を適正に行うため、委員会規程に従って協議する。年1回開催

V. 公益活動部

公益社団法人として、臨床検査の知識の普及・啓発を行い県民の健康づくりへの意識を高揚させるため、各地域の健康フェスティバルに参加する。また、日本臨床検査技師会の「臨床検査と健康・普及啓発月間」の11月には「検査と健康展」の地方会場として開催する。

企画の内容は、パネル展示や配付資料を用いて、臨床検査技師の業務や当会の事業を理解していただくとともに、検査を体験することで臨床検査を身近に感じていただく。更に小学生・中学生又は高校生を対象に臨床検査技師の仕事に興味を持てるよう、簡単な検査模擬体験などを行う。

1. 健康フェスティバルへの参画 (対象：県民・市民)

- ①一地区 長浜市健康フェスティバル 日時：令和7年5月頃 会場：長浜バイオ大学
- ②二地区 湖南市健康まつり 日時：令和7年10月頃 会場：湖南市保健センター
- ③三地区 大津市健康フェスティバル 日時：令和7年10月中旬 会場：明日都浜大津
- ④その他要望があり、対応可能な時

2. 滋賀レイクファミリーボランティア協力 開催日：令和7年7月～8月（予定）開催場所（未定）

3. 第10回「検査と健康展」（対象：県民・市民）

日時：令和7年11月（予定） 場所：イオンモール草津（予定）

内容：検査と健康展（講演会、臨床検査技師紹介、がん検診・認知症検査啓発、臨床検査模擬体験、検査説明・相談コーナー、健康チェック体験 他）

4. 滋賀県がん医療フォーラム協力 日時：令和8年2月（未定）場所：未定 内容：リーフレット配布、講演のオンライン配信

公益活動推進委員

委員	内林 佐知子	滋賀医科大学医学部附属病院	
委員	市浦 康子	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院	
委員	秋永 佳那	高島市民病院	
委員	小寺 あおい	近江八幡市立総合医療センター	
委員	櫻井 千尋	地方独立行政法人 公立甲賀病院	
委員	國本 龍牙	滋賀県立総合病院	

VI. 精度管理部

滋賀県内医療の均てん化と向上を目的に、臨床検査精度管理を実施する。

日臨技の精度管理システム JAMT-QC を活用した精度管理事業を継続する。

1. 精度管理部部門長会議 年3回開催予定

(令和7年4月、11月、令和8年1月)

2. 各部会精度管理報告会 (対象：医師、会員、他) 開催：各部会にて調整

3. 令和7年度 臨床検査精度管理報告会 (対象：医師、施設長、検査責任者、会員、他)

開催日：令和8年2月（予定）

4. 各部会別事業計画

(1) 免疫化学部会

施設間差の是正及び正確性・精密性の追求を目的として実施する。

項目は、AST、ALT、LD、CK、ALP、 γ -GT、ChE、AMY、GLU、TP、ALB、UA、UN、CRE、T-Bil、Ca、IP、Mg、Fe、Na、K、Cl、T-CHO、HDL-C、LDL-C、TG、HbA1c、CRP、

感染症（HBs 抗原・HCV 抗体・TP 抗体）、腫瘍マーカー（PSA）、甲状腺（TSH）の 3 3 項目とする。
各項目毎に評価を行い、目標値と乖離している施設については再度サーベイを実施する。

- | | | | | |
|-----|-----|---------------------------------|------|------------------|
| 1) | 内 容 | 令和 7 年度事業について | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 会議所 |
| | 開催日 | 令和 7 年 4 月 | | |
| 2) | 内 容 | 試料、要項について | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 会議所 |
| | 開催日 | 令和 7 年 5 月 16 日（金曜日） | | |
| 3) | 内 容 | 試料準備 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院検査部 |
| | 開催日 | 令和 7 年 7 月 26 日（土曜日） | | |
| 4) | 内 容 | 試料発送 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院検査部 |
| | 開催日 | 令和 7 年 8 月 3 日（日曜日） | | |
| 5) | 内 容 | データ入力と解析 | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 会議所 |
| | 開催日 | 令和 7 年 9 月 12 日（金曜日） | | |
| 6) | 内 容 | 追試サーベイ試料発送 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 7 年 9 月 26 日（金曜日） | | |
| 7) | 内 容 | データ入力と解析 | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室 |
| | 開催日 | 令和 7 年 10 月 4 日（土曜日） | | |
| 8) | 内 容 | 免疫化学部会報告会の打ち合わせ | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室 |
| | 開催日 | 令和 7 年 10 月 17 日（金曜日） | | |
| 9) | 内 容 | 文責文編集、次年度予定について | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室 |
| | 開催日 | 令和 7 年 12 月 10 日（水曜日） | | |
| 10) | 内 容 | 免疫化学部門報告会 ZOOM にてオンデマンド | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室 |
| | 開催日 | 令和 8 年 1 月 19 日（月曜日）
より 2 週間 | | |

(2) 血液部会

- ・全血球計数、凝固検査は機器間差や試薬間差の把握・是正を目的とする。
- ・血液像は正常細胞、異常を伴う細胞及び幼若細胞鑑別について施設間差の把握・是正を目的とする。

- | | | | | |
|----|-----|-----------------------------|------|------------------|
| 1) | 内 容 | 代表者会義内容と本年度年間事業計画の報告 | 開催場所 | 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室 |
| | 開催日 | 令和 7 年 4 月 | | |
| 2) | 内 容 | 試料調整方法の検討、JAMT-QC 設定、事務文書作成 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 7 年 6 月下旬 | | |
| 3) | 内 容 | 試料調整とサーベイ実施 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院検査部 |
| | 開催日 | 令和 7 年 8 月上旬 | | |
| 4) | 内 容 | サーベイ結果集計及び評価方法について検討 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 7 年 9 月下旬 | | |
| 5) | 内 容 | 報告会内容検討及び調整、個別報告書作成 | 開催場所 | オンデマンド開催 |
| | 開催日 | 令和 7 年 11 月中旬 | | |
| 6) | 内 容 | 報告会開催,報告書作成 | | |

開催日 令和7年12月 開催場所 未定

(3) 生理部会

・生理機能に関する波形や画像等の判定基準が、検査室において一定の水準と精度が保たれていることの確認および保証を目的とする。方法はフォトサーベイとし、例年同様 JAMT-QC を利用する。心電図、肺機能、超音波、脳波分野からの出題とする。

- 1) 内 容 フォトサーベイ問題案提起
開催日 令和7年4月 開催場所 Web
- 2) 内 容 フォトサーベイ問題決定、JAMT-QC の設定
開催日 令和7年6月 開催場所 Web
- 3) 内 容 フォトサーベイ結果集計
開催日 令和7年8月 開催場所 彦根市立病院 臨床検査科
- 4) 内 容 評価表作成、精度管理報告会準備
開催日 令和7年9月下旬 開催場所 彦根市立病院 臨床検査科
- 5) 内 容 報告書作成、全体報告会準備
開催日 令和7年11月中旬 開催場所 彦根市立病院 臨床検査科
- 6) 内 容 全体報告会
開催日 令和8年3月 開催場所 未定

(4) 輸血部会

血液型、交差適合試験、試験管法による凝集反応の判定及び直接抗グロブリン試験について赤血球型検査ガイドラインに基づいた輸血検査を浸透させること、および、不規則抗体の検査症例をドライスタディ形式で実施し、消去法の実施や適切な適合血の選択ができることを目的とする。また、一定の評価に達しない施設へは指導を行い検査精度の向上を図る。

- 1) 内 容 試料と症例内容の検討
開催日 令和7年4月下旬 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室
- 2) 内 容 JAMT-QC 設定および配付資料の準備
開催日 令和7年5月～6月 開催場所 未定
- 3) 内 容 配付試料の準備
開催日 令和7年7月最終週 開催場所 未定
- 4) 内 容 配付試料の作製及び発送の準備
開催日 令和7年8月試料配付前日 開催場所 未定
の土曜日
- 5) 内 容 結果の解析、再検査試料配布の検討
開催日 令和7年9月 開催場所 未定
- 6) 内 容 各施設への指導
開催日 令和7年9月～10月 開催場所 各施設
- 7) 内 容 総合判定及び評価
開催日 令和7年10月初旬 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室
- 8) 内 容 輸血部門報告会

開催日 令和7年12月初旬 開催場所 未定

9) 内 容 報告書の最終確認及び次年度の事業計画
開催日 令和7年12月～令和8年1月 開催場所 未定

(5) 一般部会

・尿定性検査は尿試験紙・測定機器間差における是正を目的とする。代表項目3項目(蛋白・糖・潜血)各2濃度について実施し、評価を行う。

・便潜血検査は採便手技・測定機器間差における是正を目的とする。3濃度の擬似便の配布を行い評価する。

・フォトサーベイ検査は尿沈渣検査、髄液検査を中心とした一般検査分野における形態検査の標準化を目的とする。JCCLS-GP1P4(尿沈渣検査法2010)に基づき、基本的な成分について出題する。

1) 内 容 今年度の役割分担, フォトサーベイ用写真選定, 試料配布準備
開催日 令和7年4月～5月 開催場所 未定

2) 内 容 フォトサーベイ用写真の最終確認, 試料配布準備
開催日 令和7年6月～7月 開催場所 社会福祉法人恩賜財団
済生会滋賀県病院

3) 内 容 試料配布, 集計結果持ち寄り, 評価
開催日 令和7年8月～9月 開催場所 滋賀医科大学医学部附属病院

4) 内 容 報告前打ち合わせ, 部門別精度管理報告会
開催日 令和7年10月～11月 開催場所 未定

5) 内 容 全体報告会, 総括, 次年度フォト検討
開催日 令和7年12月～令和8年3月 開催場所 未定

(6) 細胞部会

フォトおよび染色サーベイを行う。

フォトサーベイ：各領域の基本的な症例を中心に、細胞像のとらえ方および推定病変までの導き方について、施設間差の有無を把握することを目的とする。設問の閲覧および解答にはJAMT-QCを利用する。サーベイ終了後には「標本検討会」を行い、検鏡による確認も行う。

染色サーベイ：細胞診の一般染色であるPapanicolaou染色の染色性評価を目的とする。指定した材料の標本(※令和7年度は共通未染標本の配布も追加予定)を提出していただき、標本検討会において参加者および精度管理委員による3段階評価を行う。

1) 内 容 今年度の実施方法について
開催日 令和7年5月29日(木曜日) 開催場所 Web(ZOOM)会議

2) 内 容 症例の選択と解答選択肢考案
開催日 令和7年7月10日(木曜日) 開催場所 Web(ZOOM)会議

3) 内 容 症例問題および染色標本の検鏡による比較検討会
開催日 令和7年9月13日(土曜) 開催場所 長浜バイオ大学

4) 内 容 集計および結果評価
開催日 令和7年10月1日(水曜) 開催場所 Web(ZOOM)会議

5) 内 容 精度管理部会報告会
開催日 令和8年1月24日(土曜) 開催場所 滋賀医科大学医学部附属病院

(7) 病理部会

HE 染色は病理組織診断をも左右する非常に重要な染色であることから、染色までの工程を実施し、併せて特殊染色として PAS 染色を実施する予定。

- | | | | | | | |
|----|-----|-------------------|-----|-------------|------|-------------------------|
| 1) | 内 容 | 実施方法・内容についての検討 | 開催日 | 令和 7 年 6 月 | 開催場所 | 市立大津市民病院
or 淡海医療センター |
| 2) | 内 容 | 試料配布 | 開催日 | 令和 7 年 8 月 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| 3) | 内 容 | 判定会 | 開催日 | 令和 7 年 9 月 | 開催場所 | 長浜バイオ大学（予定） |
| 4) | 内 容 | 判定集計 | 開催日 | 令和 7 年 10 月 | 開催場所 | 市立大津市民病院 |
| 5) | 内 容 | 判定結果および次年度案について検討 | 開催日 | 令和 7 年 10 月 | 開催場所 | 市立大津市民病院 or 淡海医療センター |
| 6) | 内 容 | 報告書作成 | 開催日 | 令和 7 年 11 月 | 開催場所 | 市立大津市民病院 |
| 7) | 内 容 | 報告書作成 | 開催日 | 令和 7 年 12 月 | 開催場所 | 市立大津市民病院 |
| 8) | 内 容 | 報告会 | 開催日 | 令和 8 年 1 月 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |

(8) 微生物部会

・グラム染色は日常検査で見落としとしてはいけない菌や代表的な菌の標本を作製し、各施設にて実際にグラム染色を実施していただき、染色性および形態、推定菌名、臨床への報告コメント等について評価を行う。
・同定検査は食中毒などの起炎菌と血液や髄液などから検出される重要な菌を中心に出题し、同定菌名だけでなく同定過程、臨床への報告コメント等について評価を行う。
・薬剤感受性検査は内部精度管理株（ATCC 株）を使用し、日頃の各施設の精度管理結果と比較できるように菌株を選定する。

- | | | | | | | |
|----|-----|-------------------------------|-----|-------------|------|---------------|
| 1) | 内 容 | 令和 7 年度に使用する菌株の決定、役割分担の会議を行う。 | 開催日 | 令和 7 年 4 月 | 開催場所 | 未定 |
| 2) | 内 容 | 菌株の予備試験 | 開催日 | 令和 7 年 6 月 | 開催場所 | 未定 |
| 3) | 内 容 | 菌株の配布準備 | 開催日 | 令和 7 年 7 月 | 開催場所 | 未定 |
| 4) | 内 容 | 菌株の配布 | 開催日 | 令和 7 年 8 月 | 開催場所 | 未定 |
| 5) | 内 容 | 各項目の回答結果集計 | 開催日 | 令和 7 年 9 月 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| 6) | 内 容 | 各集計結果に対する評価検討 | 開催日 | 令和 7 年 10 月 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |

- 7) 内 容 精度管理報告会（微生物部会） 開催場所 未定
開催日 令和7年12月下旬
- 8) 内 容 精度管理報告会（全体） 開催場所 未定
開催日 令和8年3月

(9) 遺伝子部会（Covid-19-PCR）

・令和6年3月に滋賀県と臨床検査技師会とで「滋賀県感染症対策連携協議会 検査体制 部会小委員会」の協定が締結され、今後新興感染症に対して柔軟かつ効率よく対応できるように PCR の精度管理事業を行うこととなり、県内施設対象で Covid-19-PCR の手法および自動機器法のサーベイを行う。実施項目および評価項目は、Covid-19-PCR とする。

- 1) 内 容 代表者会義内容と本年度年間事業計画の報告
開催日 令和7年4月下旬 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 野洲会議室
- 2) 内 容 試料調整方法の検討、JAMT-QC 設定、事務文書作成
開催日 令和7年6月上旬 開催場所 未定
- 3) 内 容 試料調整とサーベイ実施
開催日 令和7年8月上旬 開催場所 滋賀医科大学医学部附属病院検査部
- 4) 内 容 サーベイ結果集計及び評価方法について検討
開催日 令和7年9月下旬 開催場所 未定
- 5) 内 容 各施設評価決定
開催日 令和7年11月下旬 開催場所 Web
- 6) 内 容 報告書作成
開催日 令和7年12月下旬 開催場所 各自施設
- 7) 内 容 報告会での報告
開催日 令和8年2月下旬 開催場所 精度管理 全体報告会 会場

※担当理事の任期は令和7年定期総会まで

精度管理部門 委員	役名	氏名	所属施設
精度管理委員	委員長	元中 秀行	滋賀県立総合病院
精度管理担当理事	会 長	大本 和由	社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院
精度管理担当理事	部 長	小川 秀一郎	長浜バイオ大学
精度管理担当理事	会 計	曾川 知里	独立行政法人 公立甲賀病院

学術部門 委員	役名	氏名	所属施設
免疫化学部会	代表	松川 裕一	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	副代表	足立 勇吾	大津赤十字病院
	副代表	山本 誉	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	瀧井さち子	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	谷 和也	株式会社メディック
	委員	古谷 善澄	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	松田 哲明	大津赤十字病院
	委員	一瀬 亮介	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	藤村 博和	滋賀医科大学医学部附属病院

	委員	本條 綾菜	大津赤十字病院
	委員	前田 知広	近江八幡市立総合医療センター
	委員	池本 早希	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	加藤 遼	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	平 隆一	市立野洲病院
血液部会	代表	上野山 恭平	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	梅村 茂人	滋賀県立総合病院
	委員	筒川 美裕	蒲生医療センター
	委員	櫻井 太紀	彦根市立病院
	委員	尾崎 和美	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	大津 一晃	大津赤十字病院
生理部会	代表	松本 俊一	彦根市立病院
	委員	藤澤 義久	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	駒井 貴美子	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	虎谷 貴志	大津赤十字病院
	委員	岩嶋 真之	長浜赤十字病院
	委員	清水 千尋	彦根市立病院
	委員	山本 祐己	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
輸血部会	代表	西村 好博	彦根市立病院
	委員	山下 朋子	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	豊川 美文	彦根市立病院
	委員	大濱 愛	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	大橋 亮太	市立長浜病院
	委員	神谷 美鈴	滋賀県立総合病院
一般検査部会	代表	山田 真以	彦根市立病院
	委員	新井 未来	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	会計	村木 雅哉	高島市民病院
	委員	植松 耕平	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	朝枝 祐太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	西村 さとみ	長浜赤十字病院
	委員	余根田 直人	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
細胞部会	代表	吉田 章子	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	山内 盛正	長浜赤十字病院
	委員	重野 恭子	近江八幡市立総合医療センター
	委員	山口 大	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	園滝 友衣奈	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	小栗 大助	大津赤十字病院
病理部会	代表	前田 賢矢	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	水上 利嗣	株式会社 TNR 病理センター
	委員	大森 康旨	大津赤十字病院
	委員	林 裕司	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	北川 勇一	近江八幡市立総合医療センター
	委員	岩根 京香	社会医療法人誠光会 淡海医療センター

微生物部会	代表	福田 峻	彦根市立病院
	委員	元中 恵	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	塚口 扶美枝	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	向井 理紗	近江八幡市立総合医療センター
	委員	西野 広将	長浜赤十字病院
遺伝子部会	代表	梅村 茂人	滋賀県立総合病院
	委員	近澤 秀己	近江八幡市立総合医療センター
	委員	木下 愛	滋賀医科大学医学部附属病院

Ⅶ. 学術部

臨床検査技師の生涯教育を推進するために、講演会・研修会・学会を開催する。基礎的および専門的な知識・技術の習得に加えて、タスク・シフト/シェアおよび、多職種連携を見据えて今後さらに活躍できるスキルを持ち合わせた臨床検査技師の養成を目指す。

1. 学術部門長会議 年2回開催（令和7年4月、11月開催予定）
2. 滋賀医学検査編集委員会会議 年1回開催
3. 学術論文雑誌「滋賀医学検査」Vol.16の発刊
4. 第48回滋賀県医学検査学会（第2地区担当）

開催日：令和8年2月または3月 場所：未定

5. 学術部門活動

(1) 臨床免疫化学検査部門

免疫化学検査に関連する基礎知識や最新の技術など習得し、日常業務に活かすことを目的とする。

- 1) 内 容 救急検査関連 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和7年5月中 開催場所 未定
 講 師 滋賀県立総合病院 元中 秀行 技師
 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 山本 誉 技師
- 2) 内 容 ピットフォール関連 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和7年7月中 開催場所 未定
 講 師 徳島大学病院 三好 雅士 技師
 市立野洲病院 平 隆一 技師
 滋賀県立総合病院 塚元 菜月 技師
- 3) 内 容 認定資格関連 開催場所 未定
 開催日 令和7年9月中 開催場所 未定
 講 師 地方独立行政法人 市立大津市民病院 一瀬 亮介 技師
 滋賀医科大学医学部附属病院 藤村 博和 技師
 地方独立行政法人 公立甲賀病院 齊藤 健太 技師
 大津赤十字病院 足立 勇吾 技師
- 4) 内 容 腫瘍マーカー関連 開催場所 未定
 開催日 令和7年11月中 開催場所 未定
 講 師 独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 松川 裕一 技師
 大津赤十字病院 松田 哲明 技師
- 5) 内 容 POCT 実習 開催場所 未定
 開催日 令和7年12月中 開催場所 未定
 講 師 メーカー学術担当
- 6) 内 容 尿化学（臨床一般検査部門との合同研修） 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年1月中 開催場所 未定
 講 師 和歌山県立医科大学附属病院 和田 哲 技師

(2) 臨床生理部門

臨床生理検査を行う上で必要となる基本的な知識や技術の習得および最新情報のアップデートを目的とし、さらにそれらを共有する場として研修会を開催します。

- 1) 内 容 心電図について 日臨技生涯教育推進研修会

	開催日	令和7年5月予定	開催場所	県内施設
	講師	県内技師		
2)	内容	呼吸機能検査について		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和7年6月予定	開催場所	県内施設
	講師	県内技師		
3)	内容	血管エコーについて		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和7年8月予定	開催場所	県内施設
	講師	県内、県外技師		
4)	内容	エコーハンズオン		
	開催日	令和7年9月予定	開催場所	県内施設
	講師	県内、県外技師		
5)	内容	エコー症例検討会		
	開催日	令和7年9月予定	開催場所	県内施設
	講師	県内、県外技師		
6)	内容	PSG検査について		
	開催日	令和8年1月予定	開催場所	県内施設
	講師	県外技師		

(3) 臨床血液部門

血液検査における知識や技術を参加者の方々と共有し、習得および再確認することを目的とする。また、会員同士の交流・情報交換の場を提供し、日々の疑問や問題の解決に役立ててもらう。

1)	内容	症例検討会		
	開催日	令和7年6月	開催場所	県内施設
	講師	臨床血液部門委員（未定）		
2)	内容	顕微鏡実習		
	開催日	令和7年10月	開催場所	滋賀医科大学（未定）
	講師	臨床血液部門委員		
3)	内容	凝固検査に関する研修会		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和7年12月	開催場所	県内施設
	講師	京都府立医科大学附属病院検査部 由木 洋一 技師（未定）		
4)	内容	遺伝子染色体検査に関する研修会 （遺伝子・染色体部門との合同研修会）		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和8年2月	開催場所	県内施設
	講師	未定		

(4) 病理細胞部門

病理細胞検査における技術や知識の習得を目的とし、日々の業務に活かせる研修会を開催する。また、会員同士の交流により、問題、疑問の解決に役立ててもらう。

1)	内容	遺伝子検査について		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和7年5月24日（仮）	開催場所	オンライン配信
	講師	姫路赤十字病院 検査技術部 病理検査課 がんゲノム検査係 永谷 たみ 技師		
2)	内容	穿刺液検査について（臨床一般検査部門との合同研修）		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和7年7月12日（仮）	開催場所	滋賀医科大学（仮）
	講師	国立病院機構舞鶴医療センター 佐伯 仁志 技師 県外技師		
3)	内容	精度管理標本の検討		
	開催日	令和7年9月	開催場所	長浜バイオ大学（仮）
	講師	市立大津市民病院 前田 賢矢 技師 JCHO滋賀病院 吉田 章子 技師		
4)	内容	未定		日臨技生涯教育推進研修会
	開催日	令和7年12月	開催場所	未定
	講師	医師		

(5) 臨床一般部門

より多くの方が参加できるように web 研修会を中心に開催し、基礎的な内容から症例まで幅広く業務に活かせる知識と技術を学修してもらいたい。

- | | | | | |
|-----|---|--|------|--------------|
| 1) | 内 容 | 尿検査に関する内容（血尿） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 年 月（未定） | 開催場所 | Web 開催 |
| | 講 師 | 兵庫県立尼崎総合医療センター 中島 和希 技師 | | |
| 2) | 内 容 | 尿沈渣（異型細胞） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 年 月（未定） | 開催場所 | Web 開催 |
| | 講 師 | 市立東大阪医療センター 河内 悠真 技師 | | |
| 3) | 内 容 | 症例検討 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 年 月（未定） | 開催場所 | Web 開催 |
| | 講 師 | 山口県立総合医療センター 水間 俊一 技師 | | |
| 4) | 内 容 | 寄生虫（原虫類） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 年 月（未定） | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 北陸大学 松村 隆弘 技師 | | |
| 5) | 内 容 | 穿刺液検査について（病理細胞部門との合同研修） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 7 月 12 日（仮） | 開催場所 | 滋賀医科大学（仮） |
| | 講 師 | 国立病院機構舞鶴医療センター 佐伯 仁志 技師
県外技師 | | |
| 6) | 内 容 | 尿化学（臨床免疫化学検査部門との合同研修） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 1 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 和歌山県立医科大学附属病院 和田 哲 技師 | | |
| (6) | 輸血細胞治療部門 | | | |
| | 輸血検査の基礎的な講習会や実技講習会を開催する。また、滋賀県下の施設で安全な輸血医療が行われるために、輸血療法全般に関する学術講演会を開催するほか、チーム医療の観点から滋賀県輸血療法委員会との共同事業として他職種を交えての公開研修会も開催する。 | | | |
| 1) | 内 容 | 輸血検査基礎講習会 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 5 月 11 日（日）14:00～ | 開催場所 | 市立大津市民病院 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員ほか | | |
| 2) | 内 容 | 輸血検査実技講習会 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 7 月 27 日（日）9:00～ | 開催場所 | 長浜バイオ大学 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員ほか | | |
| 3) | 内 容 | 輸血検査学術講演 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 9 月 6 日（土） | 開催場所 | Web 開催 |
| | 講 師 | 株式会社イムコア 学術企画部 | | |
| 4) | 内 容 | 輸血検査学術講演会 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 11 月 30 日（日）13:30～ | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 輸血細胞治療部門委員 | | |
| 5) | 内 容 | 輸血医療学術講演会（滋賀県輸血療法委員会共同事業） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 2 月 21 日（土）14:00～ | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 未定 | | |
| (7) | 臨床微生物部門 | | | |
| | 微生物検査は院内感染対策・抗菌薬適正使用支援に欠かせない検査であり、薬剤耐性菌の早期発見、起炎菌の迅速同定・感受性検査の質を担保し向上させることが求められる。今年度は基本的な知識の習得、応用を交えた研修会を開催する。臨床推論に関しても医師と共にライブカンファレンスを行い知識の習得に努める。 | | | |
| 1) | 内 容 | 講義 1：薬剤感受性検査の基礎
講義 2：感受性検査パターン千本ノック（グラム陽性球菌編） | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 5 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 研究班 班員 | | |
| 2) | 内 容 | 臨床推論を学ぼう！医師と技師のケースカンファレンス | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 7 年 6 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 市立長浜病院 消化器内科 茶谷 元晴 医師
研究班 班員 | | |
| 3) | 内 容 | 講義 1：CLSI の改定点
講義 2：帰ってきた感受性検査パターン千本ノック | | 日臨技生涯教育推進研修会 |

(グラム陰性桿菌編)

- | | | | |
|--|-----------------------------|----------|--------------|
| 開催日 | 令和7年9月 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | メーカー学術
研究班班員 | | |
| 4) 内容 | 論文の読み方、探し方 | | |
| 開催日 | 令和7年10月 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | 長浜バイオ大学 フロンティアバイオサイエンス学科 教授 | 小森 敏明 先生 | |
| 5) 内容 | 薬剤耐性菌について | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| 開催日 | 令和7年12月 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科 教授 | 中村 竜也 先生 | |
| 6) 内容 | 結核菌をはじめとする抗酸菌について | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| 開催日 | 令和8年2月 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | メーカー学術 | | |
| (8) 遺伝子・染色体部門 | | | |
| <p>ここ最近、がん遺伝子パネル検査の保険適応に伴う急激な普及や、がんゲノム医療の急激な膨張に加え、新型コロナウイルス感染症のPCRをはじめとした検査の拡大、急激な変化に伴い現場では混乱や人材不足の問題も生じている。研修会を通じて、会員たちが一堂に会し、出会い、相互に情報交換が出来る機会の場になればと思う。</p> | | | |
| 1) 内容 | がんゲノム医療の最新トピックス (予定) | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| 開催日 | 令和7年10月 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | 未定 | | |
| 2) 内容 | 遺伝子関連の内容 (臨床血液部門との合同研修会) | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| 開催日 | 令和8年2月 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | 未定 | | |
| (9) 学術部門 | | | |
| <p>次期新興感染症に備え、PCR検査や検体採取をできる人材育成を目指す。</p> | | | |
| 1) 内容 | PCR検査 (精度管理含む) | | |
| 開催日 | 令和7年 未定 | 開催場所 | 長浜バイオ大学 |
| 講師 | メーカー学術担当者 | | |
| 2) 内容 | 検体採取 | | |
| 開催日 | 令和7年 未定 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | 医師、県内技師 | | |
| 3) 内容 | 災害医療について | | |
| 開催日 | 令和7年 未定 | 開催場所 | 未定 |
| 講師 | 未定 | | |

学術部門	委員	役名	氏名	所属施設
臨床免疫化学検査部門		部門長	一瀬 亮介	地方独立行政法人 市立大津市民病院
		副部門長	齊藤 健太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
		会計	山本 誉	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
		委員	谷 和也	株式会社 メディック
		委員	松川 裕一	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
		委員	松田 哲明	大津赤十字病院
		委員	元中 秀行	滋賀県立総合病院
		委員	藤村 博和	滋賀医科大学医学部附属病院
		委員	井上 雄斗	自宅会員
		委員	平 隆一	市立野洲病院
		委員	森田 翔	長浜赤十字病院
		委員	塚元 菜月	滋賀県立総合病院

臨床生理部門	部門長	中島 辰也	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	副部門長	森 真奈美	滋賀県立総合病院
	副部門長	栗本 明典	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	会計	駒井 貴美子	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	藤澤 義久	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	鮎川 宏之	滋賀県立総合病院
	委員	森 亘平	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	高橋 和也	大津赤十字病院
	委員	近藤 里帆	彦根市立病院
	委員	大西 萌	地方独立行政法人 公立甲賀病院
臨床血液部門	部門長	中西 良太	滋賀医科大学医学部附属病院
	副部門長	橋口 篤	大津赤十字病院
	会計	中川 美波	長浜赤十字病院
	委員	梅村 茂人	滋賀県立総合病院
	委員	田邊 正喜	彦根市立病院
	委員	中川 和美	社会医療法人誠光会 淡海医療センター
	委員	深田 晃穂	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	森地 祥太郎	滋賀県立総合病院
病理細胞部門	部門長	土田 弘次	長浜赤十字病院
	副部門長	森口 裕紀	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	会計	谷村 満知子	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	古賀 一也	市立長浜病院
	委員	嶋村 成美	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	谷口 裕美	滋賀県立総合病院
	委員	秋永 佳那	高島市民病院
臨床一般検査部門	部門長	新井 未来	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	副部門長	山田 真以	彦根市立病院
	会計	植松 耕平	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	早寄 邦子	近江八幡市立総合医療センター
	委員	山田 奈穂	滋賀県立総合病院
	委員	松田 哲明	大津赤十字病院
	委員	奥村 秀太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
輸血細胞治療部門	部門長	山中 博之	近江八幡市立総合医療センター
	副部門長	小川 久美子	長浜赤十字病院
	会計	三島 賀美	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	村島 智	社会医療法人誠光会 淡海医療センター
	委員	吉田 正明	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	山下 朋子	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	齊藤 健太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	森野 真平	大津赤十字病院
	委員	清水 陽子	医療法人芙蓉会 南草津病院
臨床微生物部門	部門長	木下 愛	滋賀医科大学医学部附属病院
	副部門長	近澤 秀己	近江八幡市立総合医療センター
	会計	加藤 香	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	元中 恵	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	秋井 啓輔	滋賀県立総合病院
	委員	西野 広将	長浜赤十字病院
	委員	高橋 春菜	大津赤十字病院

	委員	中村 華菜	彦根市立病院
	委員	谷川 翔平	滋賀医科大学医学部附属病院
遺伝子・染色体部門	部門長	大森 康旨	大津赤十字病院
	副部門長	植村 宗弘	滋賀県立総合病院
	会計	岩本 望	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	中西 良太	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	加藤 遼	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	入野 保	自宅

VIII 事業予算

2025年度滋賀県臨床検査技師会予算(案)

2025年 4月 1日 から2026年 3月 31日 まで

(単位:円)

	予算額内訳			本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
	公益	共益	法人会計				
I. 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
①入会金収入							
入会金収入	12,500	0	12,500	25,000	15,000	10,000	500円×50名
入会金計	12,500	0	12,500	25,000	15,000	10,000	
②会費収入							
正会員会費収入	1,095,000	0	2,555,000	3,650,000	3,500,000	150,000	5,000円×730名
賛助会員会費収入	0	0	1,200,000	1,200,000	1,200,000	0	30,000円×40社
会費収入計	1,095,000	0	3,755,000	4,850,000	4,700,000	150,000	
③事業収入							
事業活動収入	414,000	0	0	414,000	493,000	△ 79,000	参加費など
広告料収入	0	500,000	0	500,000	500,000	0	20,000円×25社
交付金事業収入	2,480,000	0	0	2,480,000	2,384,000	96,000	医師会から
事業収入計	2,894,000	500,000	0	3,394,000	3,377,000	17,000	
④補助金収入							
地方公共団体助成金収入	535,000	0	0	535,000	535,000	0	滋賀県
民間助成金収入	1,450,000	0	20,000	1,470,000	1,470,000	0	日臨技より
補助金等収入計	1,985,000	0	20,000	2,005,000	2,005,000	0	
⑤寄付金収入							
寄付金収入	110,000	43,000	0	153,000	153,000	0	10,000円×11社
寄付金収入計	110,000	43,000	0	153,000	153,000	0	
⑥雑収入							
受取利息収入	0	0	2,000	2,000	2,000	0	利息収入
雑収入	0	0	0	0	0	0	
雑収入計	0	0	2,000	2,000	2,000	0	
事業活動収入計	6,096,500	543,000	3,789,500	10,429,000	10,252,000	177,000	
2. 事業活動支出							
①事業費支出							
福利厚生費支出	203,500	430,000		633,500	1,482,000	△ 848,500	
旅費交通費支出	701,000	65,000		766,000	836,000	△ 70,000	
通信運搬費支出	691,020	45,200		736,220	734,580	1,640	
消耗什器備品費支出	0	0		0	0	0	
消耗品費支出	1,716,430	68,000		1,784,430	1,759,820	24,610	
印刷製本費支出	1,216,000	0		1,216,000	1,223,000	△ 7,000	
賃借費支出	1,607,000	20,000		1,627,000	1,851,000	△ 224,000	
保険料支出	8,000	0		8,000	6,000	2,000	
諸謝金支出	875,600	40,000		915,600	950,957	△ 35,357	
委託費支出	1,515,000	60,000		1,575,000	1,924,000	△ 349,000	日当分
雑支出	184,000	90,000		274,000	349,043	△ 75,043	
事業費支出計	8,717,550	818,200		9,535,750	11,116,400	△ 1,580,650	
②管理費支出							
役員報酬支出			0	0	0	0	役員報酬は無し
福利厚生費支出			140,000	140,000	100,000	40,000	
会議費支出			130,000	130,000	130,000	0	
交際費支出			10,000	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出			280,000	280,000	280,000	0	
通信運搬費支出			120,000	120,000	90,000	30,000	
消耗什器備品費支出			140,000	140,000	140,000	0	
消耗品費支出			110,000	110,000	100,000	10,000	
修繕費支出			0	0	0	0	
印刷製本費支出			0	0	0	0	
光熱費支出			0	0	0	0	
賃借費支出			660,000	660,000	660,000	0	
保険料支出			0	0	30,000	△ 30,000	
諸謝金支出			20,000	20,000	20,000	0	
租税公課支出			4,000	4,000	4,000	0	
負担金支出			0	0	0	0	
委託費支出			892,500	892,500	810,000	82,500	委託費(information入力)
雑支出			40,000	40,000	40,000	0	
管理費支出計			2,546,500	2,546,500	2,414,000	132,500	
事業活動支出計	8,717,550	818,200	2,546,500	12,082,250	13,530,400	△ 1,448,150	
事業活動収支差額	△ 2,621,050	△ 275,200	1,243,000	△ 1,653,250	△ 3,278,400	1,625,150	

	予算額内訳			本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
	公益	共益	法人会計				
II. 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
①基本財産取崩収入	0	0	0	0	0	0	
基本財産取崩収入計	0	0	0	0	0	0	
②特定費用準備金取崩収入							
記念式典準備金取崩収入	0	0	0	0	800,000	△ 800,000	
祝賀会準備金取崩収入	0	0	0	0	900,000	△ 900,000	
特定費用準備金取崩収入計	0	0	0	0	1,700,000	△ 1,700,000	
投資活動収入計	0	0	0	0	1,700,000	△ 1,700,000	
2. 投資活動支出							
①特定費用準備金取得支出							
記念式典準備金繰入支出	0	0	0	0	0	0	
祝賀会準備金繰入支出	0	0	0	0	0	0	
特定費用準備金取得支出計	0	0	0	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	
投資活動 収支差額	0	0	0	0	1,700,000	△ 1,700,000	
III. 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	
2. 財務活動支出							
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
IV. 予備費支出							
当期収支差額	△ 2,621,050	△ 275,200	1,243,000	△ 1,653,250	△ 1,578,400	△ 74,850	
前年度繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額	△ 1,653,250			△ 1,653,250	-1,578,400	△ 74,850	

